



2025 年度 海外語学実習（フランス語） 参加レポート

文学部 コミュニケーション学科 4 年

研修に参加した理由や目的

フェリス女学院大学に入学する前から、第二言語として選択するのはフランス語と決めていたほど、フランス語に対するモチベーションが高く、行けることなら大学生のうちに一度はフランスに行きたいとずっと思っていたため、この研修への参加は私にとって念願のようなものでした。

この研修での目的は、まず「フランス語を使う」ということ。これまでフランス語インテンシブコースで学んだことを活かすことが最大の目的でした。そして、カトリックの国であるフランスでミサに与り、卒業論文でとりあつかう、フイセント・ファン・ゴッホの絵画を現地でみるということを目的であり目標としていました。

研修を通じて経験したこと・気づいたこと・学んだこと

日本ではない異国で、一か月生活するということが、何より一番の経験となりました。フランスに到着してから、周りから聞こえてくる言語はフランス語。当たり前ですが、一番頭を使うところでした。しかし、心配していたよりも、現地の方は優しく、日常で困ったことは何一つありませんでした。

授業は Cours2 に配属され、A2 という仏検準二級レベル。インテンシブコースで二年生までには学ぶような内容でしたが、授業はもちろんすべてフランス語のため、先生の話す内容をすべて理解するには、ちょうどいいクラスでした。言いたいことがあれば、とりあえずわかるフランス語で身振り手振りをつけて伝えてみる。この勇気を、この研修で身につけることができました。

今後の目標や研修参加を検討している方へのアドバイス

今後の目標は、インテンシブコースで学んできたフランス語を忘れないように、そしてフランスで出会った人たちと会話するために、フランス語を学び続け、衰えないようにすることです。

短期研修は、早ければ早いほど、学びになると思います。1 年生では少し早すぎるかもしれませんが、2 ～ 3 年生だと、ある程度文法も学んだあとで、新たな発見もあり、いい経験になると思います。4 年生だと、インテンシブコースでもスタンダードコースでも、前期に授業を取らない限りは、授業としてはなくなります。そのため、行くなら 2 ～ 3 年が個人的にはおすすめです。現地での生活は、意外と何とかなります。自分の自信にもなるといいます。楽しみながらフランス語を勉強するなればい。



FERRIS
UNIVERSITY

